



エコープ生活協同組合の 本業を通じた地域貢献のとりくみについて

エコープ生活協同組合 組合員活動部 阿利浩二





エフコープ概要 (2020年3月末日現在もしくは2019年度実績)



組織概要



- 設立 1983年4月1日
- 本部所在地 福岡県糟屋郡篠栗町
- 組合員数 福岡県内で517,790世帯
(県内全世帯の22.37%が組合員)
- 出資金 (資本金) 204.20億円
- 供給高 (売上高) 557.25億円
- 職員数 (従業員数) 2,954名

【主な事業内容】 ※子会社によるものも含む

- 無店舗事業 (班配達・個別配達など)
- 店舗事業
- 「夕食 (弁当)」や「水」の宅配事業
- 福祉事業 (高齢者、子ども・子育て、しょうがい者)
- 共済・保険事業 ■ 電力小売事業
- 生活関連サービス事業 (旅行・住宅・葬祭など)
- 農林産物の生産事業 (しいたけ・ミニトマト)
など...



供給高に占める割合が無店舗事業で約84%
コロナ下、組合員の要望が高まりました。



エフコープの組合員加入状況(最新)



組合員数	54万1,177名
組織率 (世帯数に対する組合員数)	23.23%



エフコープ篠栗本部
住所：糟屋郡篠栗町中央1-8-1

2021年2月末見込み

エフコープの事業高

事業高	約634億円
------------	---------------

県内全域に事業所があります

- 2月度決算から、2020年度の損益の到達「見込み」は◇供給高634億 ◇経常剰余金28億。
供給高は、1993年度の約639億円・92年度の約634億円に次いで設立以来2・3番目に多い見込み。
経常剰余金は、1990年度の約21.5億円を大きく上回り、過去最高となる見込み。



エコープの組合員数推移(最新)





「コロナ感染者数」と「コープの配達」の利用者数の関係

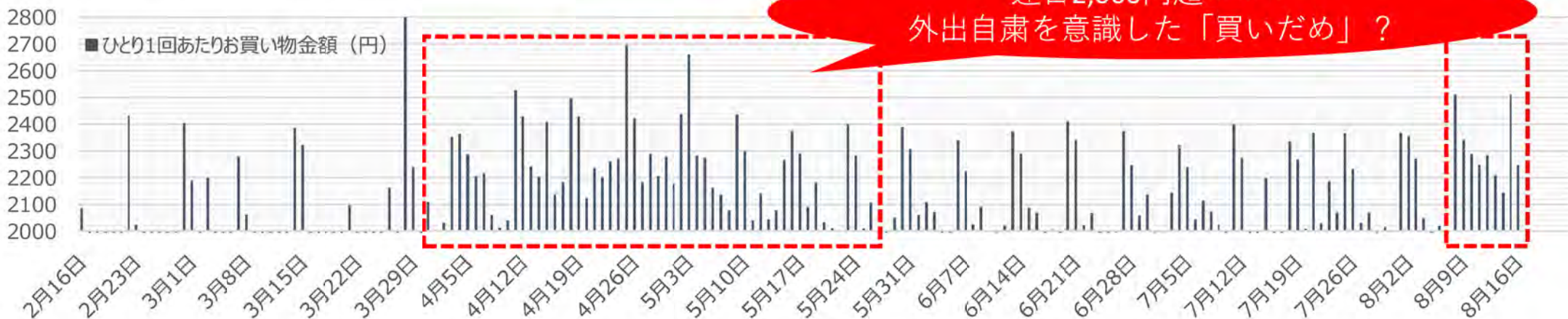
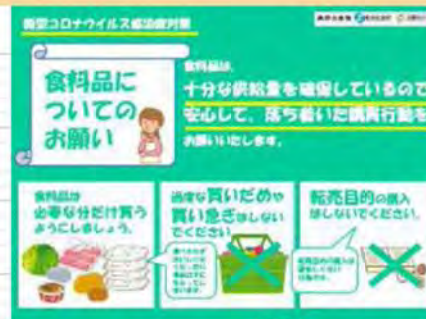


出典：福岡県新型コロナウイルス感染症ポータルサイト





「外出自粛要請」と「コープのお店」でのお買い物金額の関係





エコーブ基本理念



ともに生き
ともにつくる
くらしと地域

1997年策定





SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

めざすところは同じ

コロナ下で組合員や地域のみなさまをはじめ、お取引先様・関係団体のご協力と従業員の奮闘により、「ライフライン」としての機能を維持できました。

「新型コロナ」の感染拡大だけでなく、近年はさらに大規模自然災害や地政学リスクなどあらゆるリスクが顕在化しており、さまざまな緊急事態の発生の懸念があります。

あらためて、協同組合が、「SDGS」達成への貢献を果たす役割として大きいことを認識しました。



市町村等との主な連携項目



- | | |
|----------------------------------|--------|
| (1) 地域産業の活性化に関すること | ・・・12P |
| (2) 行政及び地域の情報発信に関すること | ・・・15P |
| (3) 健康づくり・食育に関すること | ・・・16P |
| (4) 子育て支援・教育に関すること | ・・・17P |
| (5) 地域福祉の振興に関すること | ・・・18P |
| (6) 暮らしの安全・安心に関すること | ・・・19P |
| (7) 環境に関すること | ・・・26P |
| (8) 防災・減災対策や災害時支援に関すること | ・・・27P |
| (9) その他、地域社会の活性化・市民サービスの向上に関すること | ・・・29P |
| ◆ その他の市町村との連携事例 | ・・・31P |



エコープと他団体の連携実績



協定名	連携先
包括連携協定	<ul style="list-style-type: none"> ・うきは市（2015年） ・篠栗町（2017年） ・東峰村（2020年） ・宗像市（2020年）
災害時相互協力協定	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市社会福祉協議会（2016年） ・福岡県社会福祉協議会（2018年）
東日本大震災等からの復興に向けた寄り添い活動に関する友好協力協定	2017年 <ul style="list-style-type: none"> ・JAふくしま未来 ・コープおおいた
災害発生時の相互協力に関する協定	筑紫女学園大学（2019年）
北九州市における食品ロス及びレジ袋削減に向けた取組に関する協定	2018年
	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市 ・市民団体
	・北九州市内の小売事業者6社
『フードバンクを活用した食品ロス削減推進』 共同研究プロジェクトに係る共同研究協定	2017年
	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡県リサイクル総合研究事業化センター ・フードバンク北九州ライフアゲイン
	・フードバンク福岡
子ども食堂の食品の保管場所に関する協定	ふくおか筑紫フードバンク運営委員会（2016年）
子ども食堂の支援に向けた取組に関する協定	2019年 <ul style="list-style-type: none"> ・北九州市 ・子ども食堂ネットワーク北九州
見守りネットふくおか協定	福岡県（2013年） ⇒翌年、各自治体と協定締結
消費者被害の防止に係る共働に関する協定	福岡市（2017年）
福岡市水源の森づくり共働事業に関する協定	福岡市水道局（2018年）

連携協定を結ぶ市町村 との連携事例紹介



(1) 地域産業の活性化に関すること

■ 地元産品の拡充・発信に関する連携

【朝倉郡東峰村】



福島のりんごと東峰村の柚子を使用したジャム、グラノーラを開発
実績(2018年～)
農産物直売所・共同購入
約3,000点販売

【宗像市】



地島天然わかめ
実績(2019年度)
5店舗・篠栗本部限定企画
約700点販売

【うきは市】



本部スタッフ向けの販売会を実施
実績(2020年7月)
桃150パック、ぶどう50パック完売

(1) 地域産業の活性化に関すること

■ 地元産品の拡充・発信に関する連携

【地元食材を使った朝倉地域伝統の蒸し雑煮の開発】

【小中一貫校の給食に】

【地域団体商標登録に向けて】

【コロナ下での子どもたちの給食】



朝倉地域（朝倉市・筑前町・東峰村）のすべての小・中学校（24校で、児童・生徒数約6,000名）の学校給食に登場



あさくら観光協会などを中心に構成されるプロジェクトとともに、開発した「筑前朝倉蒸し雑煮」。昨年10月から、エフコープの共同購入チラシや店舗で新発売されました。その後、あさくら朝倉地域の道の駅・農産物直売所でも取り扱いがはじまり、12月までの3カ月のあいだで約30,000パックのご利用をいただいています。



学校で食に関する指導を担われている先生（栄養教諭）より、「蒸し雑煮」のことや、原料のひとつとなっている同村産の「しいたけ」のお話がありました。

(1) 地域産業の活性化に関すること

■復興支援活動から被災地をつなげた商品が生まれました。

【東峰村で組合員の柚子狩り企画】



11月3日、コロナの影響で組合員を集めてできた企画のひとつでした。



「グラノーラ」

【福島市で東峰村の方がりんご収穫】



平成29年九州北部豪雨で被災し、仮設住宅にお住まいだった方が福島に訪問



お互いの交流から福島と東峰村の特産品を使用した6次化商品を開発できました！

(2) 行政及び地域の情報発信に関すること

■ 行政のイベントや地域情報に関する広報連携

エフコープが運用している、子育て応援サイト「CHEER!days」で、地域の親子で楽しめるスポットやイベントのご紹介などの広報連携。



※レビュー数年間約48万



 「CHEER!days」
サイトはこちら



管理栄養士・けんちゃん先生のライブキッチン
宗像市との広報連携で、宗像市産のイカを使ったライブキッチンを配信

(3) 健康づくり・食育に関すること

■コープ共済連との健康づくりに関する連携



【2019年度 ウォーキングイベント実施箇所】

- ・うきはウォーキングsupported by coop共済(1,110名参加)
- ・コーすけウォーキングなかま(90名参加)
- ・コーすけウォーキング筑後(193名参加)
- ・篠栗春らんまんハイキングsupported by coop共済(900名参加)
- ・コーすけウォーキング糸島(266名参加)

【健康づくりステーション設置箇所】

- ・(うきは市) 道の駅うきは
- ・(糸島市) 白糸の滝
- ・(篠栗町) カブトの森公園、オアシス篠栗
- ・(宗像市) 道の駅むなかた

(4) 子育て支援・教育に関すること

■ 子育て層への買い物支援に関する連携



エフコープのメリット

- ・配達箇所数の削減
- ・配達コストの削減
- ・CO2 排出削減
- ・子育て層との継続的な関係構築

施設のメリット

- ・保護者の満足度UP
- ・施設のイメージUP
- ・職員の福利厚生充実
- ・他施設との差別化
- ・委託料収入

保護者のメリット

- ・買い物の時間短縮
- ・配達手数料ゼロ
- ・ケースの片付けなし
- ・留守置き心配ゼロ
- ・エフコープの他サービスの利用も可能に！

(5) 地域福祉の振興に関すること

高齢者福祉

- 居宅介護支援（ケアマネジメントサービス）
- 通所介護（デイサービス）
- 訪問介護
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- 小規模多機能型居宅介護
- ふれあいサービス（介護保険外自費サービス）
- 夕食宅配サービス

ふれあいサービス（介護保険外自費サービス）

- 高齢者・しょうがい者支援サービス
- 家事支援サービス
- 子育て支援サービス

しょうがい福祉サービス

- 特定相談支援・障害児相談支援
- 居宅介護（ホームヘルプサービス）
- 放課後等デイサービス
- しょうがい者グループホーム



しょうがい者グループホーム
りーふ・あつがる（うきは市）

(6) 暮らしの安全・安心に関すること

■見守り協定を生かした高齢者の見守りに関する連携

事例1

配達時、いつもはインターフォンを押すと鍵を開けられるのですが、その日は「鍵は開いてる…」との声が聞こえました。ドアを開けたところ、組合員さんが玄関で具合が悪そうにされており「救急車を呼んでほしい…」とのことでしたので、すぐに救急車を呼びました。2日前にトイレで倒れられ、飲食されていなかったそうです。同時刻に他の業者さんが訪問されていたようですが、不在連絡票を置いて行かれただけだったそうで、気が付いて良かったです。



人命救助 (地域見守り)

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
件数	4	5	5	8	9	20	21	19
表彰人数	4	5	5	10	9	20	26	21



福岡県との「見守りネットふくおか協定」をはじめ、県内の市町村と事業所で「地域見守り協定」を締結しています。



年々、見守り件数が増え、事例共有がなされることもあり、勇気を持った一歩が垣間見られます。

(6) 暮らしの安全・安心に関すること

■事業所スタッフが青パト（青色回転灯防犯巡回車）で巡回



協定とは別に福岡市南区では区役所のコーディネートにより、地域の困りごととエフコープの強みをマッチングいただき「青パト」への協力ができています。



企業等が青パトで地域貢献



地域防犯パトロールカーは通称「青パト」と呼ばれ、小学校の登下校時や夜間パトロールなどの防犯活動の際、地域住民に利用されています。

区内の企業等も、青パトを通じて地域貢献活動を行っています。

◇パトロールのお手伝い

エフコープ生活協同組合は、野多目校区で青パトに乗ってパトロールをお手伝いしています。乗り手が不足していた同校区の状況を知り、地域の力になりたいと9月からパトロールを始めました。



笑顔でパトロール

エフコープの吉武ちか子さんは「地域防犯の取り組みに貢献できて良かったです。すれ違う小学生が笑顔で手を振ってくれてうれしかったです」と笑顔でした。

(6) 暮らしの安全・安心に関すること

■ 配達スタッフが移動基地局となっています

福岡市では、子どもの安全確保のため、IoTを活用して、地域とともにネットワークをつくり、社会全体で子どもの見守り事業（通称：オッタバイ）を強化しています。エフコープは、福岡市内の配達を管轄する5支所（城南・早良・糸島・志免・新宮）のスタッフ約230名の業務用スマートフォンに、見守り人アプリをダウンロードしており、福岡市が小学生を対象に配付している見守り端末機に反応する移動基地局の役割を持たせており、毎月3,000件を超える記録実績があり、子どもの見守りに貢献しています



otta[®]
見守り人アプリ



児童が身に付けている端末機



見守りアプリ画面



これも協定とは別に、福岡市南区では区役所のコーディネートにより、地域の困りごととエフコープの強みをマッチングいただき「児童見守り」への協力ができています。



(6) 暮らしの安全・安心に関すること

■ 消費者被害防止チラシの配布や詐欺被害防止学習会の開催



「令和2年7月豪雨」の際には消費生活センターからの消費者被害への啓発チラシを同封し、被災地域（筑後地域）を中心にタオルを配付しました。

(6) 暮らしの安全・安心に関すること

■北九州市消団連とのとりくみ

●北九州市消団連とは

【主な概要】

正式名称は「北九州市消費者団体連絡会」と言い、1974年に第1回北九州消費者大会を開催したことに始まり、その後毎年、消費者大会を開催するとともに電気料金や公共交通機関の料金の値上げ反対、冷房バス路線の新設などの要望を行い、実績をあげてきました。そのような経過を経て、消費者運動をさらに発展させていくためには、恒常的な組織が必要との気運が高まり、1979年に九州では3番目の消費者団体連絡会として発足し、これまで活動を続けています。「暮らしと健康をまもりましょう」がそのコンセプトになっています。

エコープも前身の北九州市民生協時代より参画しており、現在は**北九州市消団連常任幹事をエコープ組合員理事が務め、同事務局長をエコープ（組合員活動部）スタッフが務めています。**

【構成団体（幹事団体）】

エコープ生活協同組合、北九州市生協労組懇談会、北九州市立大学生生活協同組合
北九州母親大会連絡会、九州工業大学生生活協同組合、健和会労働組合
自治労連北九州市職員労働組合、新日本婦人の会、徳力団地自治会

※上記9団体から代表1名（幹事）が選出・派遣され、幹事会を構成しています。
現在の代表幹事は九州工業大学生生活協同組合専務理事が担っています。

(6) くらしの安全・安心に関すること

■北九州市消団連とのとりくみ

「福岡県内市区町村地方消費者行政調査」

エフコープの組合員活動組織の「ブロック活動委員会」のうち、北部ブロック活動委員会と中部ブロック活動委員会では、北九州市消団連に一般社団法人 全国消費者団体連絡会から呼びかけのあった、「福岡県内市区町村地方消費者行政調査」に関する活動を、各々ブロック内の市町村に訪問調査を中心に活動を行いました。

ブロック活動委員会はその役割に、「行政や地域の諸団体および組合員活動とのネットワークを活かした活動を進める」とあります。テーマがなく行政を訪れるということは極めて難しいことですので、このような形で双方にとっての存在意義にもつながる調査訪問活動は大変意義がありました。

発足初年度ともなった2018年度からとりくみをはじめ、2019年度と2年間とりくみを行っています（2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で組合員活動が中止となったため、行っていません）。

2019年度消費者行政に関するアンケート
(福岡県市区町村版)

北九州市消費者団体連絡会
エフコープ生活協同組合

調査対象市区町村数：60
回収率・入力者数：46
【回答自治体】

みやこ町	行橋市	遠賀町	豊前市	築前町	糸島町	上毛町	中津市
本誓町	苅田町	尾上町	志高町	新川市	高田町	直方市	豊津町
遠藤市	飯塚市	川崎町	香春町	杵築町	福智町	豊田町	若狭町
早良町	福津市	志丸町	宇美町	久山町	古賀市	小竹町	福岡市
遠東町	赤井	嘉神町	桂川町	宮田町	春日市	糸島市	大川市
遠東市	小郡市	筑前町	うきは市	八女市	北九州市		

Q1. 2019年度に消費者行政を担当している部署を教えてください。

みやこ町	福祉まちづくり課	国土観光課	新宮町	産業振興課	消費者生活相談課	
行橋市	産業振興課	産業観光課	地域商	農産物課	産業振興課	
遠賀町	まちづくり課	産業振興課	福津市	地域振興課	地域振興課	国土振興課
豊前市	産業振興課	国土課	農業活性化係	志高町	生活安全課	安全安心係
筑前町	地域づくり課	安全安心係	宇美町	総務課	安全安心係	
杵築町	環境生活課	地域振興・交通係	久山町	産業振興課	国土観光課	
上毛町	消費者生活相談課		古賀市	建設産業部	国土振興課	産業観光課
中津市	建設産業部産業振興課	国土企業振興係	小竹町	まちづくり推進課	国土観光課	
本誓町	産業振興課	産業振興係 (消費生活センター)	福岡市	市民民生生活安全部	消費生活センター	
飯塚市	防災・地域振興課	くらし安全係	糸島市	産業観光課	国土観光課	都市計画課
尾上町	産業課	国土課	赤井	産業建設課	産業振興課	
志高町	産業建設課		杵築町	産業振興課	国土振興課	
新川市	市民生活部	消費生活センター課	桂川町	産業振興課	国土振興課	
宮田町	地域振興課		春日市	産業観光課	国土振興課	

1.

(6) 暮らしの安全・安心に関すること

■ 北九州市消団連とのとりくみ

「北九州消費者大会」への実行委員会団体として参画

- 「北九州消費者大会」とは生協や女性団体、労働組合、住民団体など、さまざまな消費者団体が「暮らしと健康を守るため」に年に一度集まり、連帯の輪を広げるつどいです。
- エフコープは、北九州市消団連幹事団体の一つとして、実行委員会に参画しています。



2019年度憲法「檻の中のライオン」

暮らしと健康を守るために
第45回 北九州消費者大会

【基調講演】
講師 龍山 康朗
(たつやま やすあき さん)

【パネルディスカッション】
「自然災害にたいして準備、対応、復旧について考える」
コーディネーター
龍山 康朗 さん
和田 瑞穂 さん
村江 菊地 大介 さん

2018年 11月24日(土) 会場:北九州市立大学本館1-201教室
時間 10:00~12:30 定額 1,500円

大会プログラム	
10:00	開会挨拶
10:05	基調講演 講師: 龍山康朗(たつやますあき)さん
10:50	休憩
11:00	パネルディスカッション
12:05	大会閉会・懇談会

主催: 北九州市消費者団体協議会
協賛: エフコープ北九州、北九州市消費者団体協議会、北九州市立大学本館、北九州市立大学本館1-201教室、北九州市立大学本館1-201教室、北九州市立大学本館1-201教室、北九州市立大学本館1-201教室

暮らしと健康を守るために
第46回 北九州消費者大会

「檻の中のライオン」
2019年11月2日(土) 会場:小倉リーセントホテル 1階ガーデンホール
時間 10:00~12:30

主催: 北九州市消費者団体協議会
協賛: エフコープ北九州、北九州市消費者団体協議会、北九州市立大学本館、北九州市立大学本館1-201教室、北九州市立大学本館1-201教室、北九州市立大学本館1-201教室、北九州市立大学本館1-201教室

暮らしと健康を守るために
第47回 北九州消費者大会

＜講演＞
「ともに学び賢い消費者になろう!!」
～コロナ禍を乗り越える“賢い消費”と“つながり作り”～
講師:阿南 久 さん

＜北九州の「いま」を報告＞
「新型コロナ禍の学校」
北九州市小学校の先生より

今年度北九州消費者大会テーマ
新型コロナ禍で見えてきた私たちの暮らしと問題
2021年2月20日(土)10:00~12:15

消費者大会は参加無料でもなたでも参加できます(通信費各自負担)

大会スケジュール		
10:00	開会挨拶	完全 オンライン 開催
10:05	講演: 阿南久さん	
10:15	休憩	
10:25	報告: 北九州の「いま」を報告	
11:45	休憩	
11:50	講演	
12:10	大会閉会(懇談会)挨拶	

主催: 北九州市消費者団体協議会
協賛: エフコープ北九州、北九州市消費者団体協議会、北九州市立大学本館、北九州市立大学本館1-201教室、北九州市立大学本館1-201教室、北九州市立大学本館1-201教室、北九州市立大学本館1-201教室

⇒過去3回分のパンフレット表紙

(7) 環境に関すること

■フードロス削減・フードバンクとの連携

店舗でのフードドライブの様子



NO-FOODLOSS PROJECT




広報むたかたでフードバンク協議会の紹介



2020年12月より、「フードバンク活動支援システム」の稼働が始まり、寄贈食品のトレーサビリティなどが可能となりました。詳しくは、下記二次元コードから福岡県のHPをご覧ください。



 2016年以降、県内のフードバンクに寄付された商品の保管など食品ロス削減にむけたサポートを行っています。2019年には「一般社団法人福岡県フードバンク協議会」へ参画し、フードバンク活動の普及・促進に取り組んでいます。

(8) 防災・減災対策や災害時支援に関すること

物的支援



継続支援



福岡県と福岡県生活協同組合連合会で締結した「災害時における県民生活の安定に関する基本協定書」に基づき、災害時には要請に応じた支援を迅速に行います。

人的支援



募金活動



防災イベントの様子
(ローリングストックの紹介)

(8) 防災・減災対策や災害時支援に関すること

継続支援

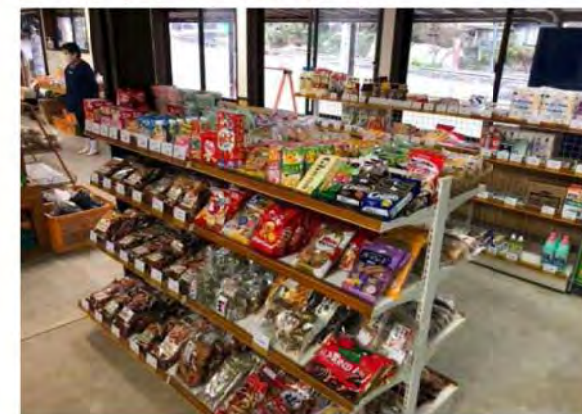
被災地支援は被災者の自立、くらしとなりわいの復興に向けた活動を行っています。その結果…

2021年3月6日より

農産物直売所に生協商品の一部を品揃えできるようになりました

東峰村民でつくるボランティア団体「東峰村元気プロジェクト」では、有限会社つづみの里および、社会福祉法人東峰村社会福祉協議会・エフコープ生活協同組合とともに、「とうほう百貨店」協議体を構成し、「東峰村買い物支援プロジェクト」事業に取り組みました。そのプロジェクトの一環として、消費生活協同組合法に基づく行政庁の許可を得て、「つづみの里農産物直売所」に、エフコープの共同購入カタログで紹介されている商品の一部を品揃えしています。

また、直売所までご来店することが難しい村民の方には、自宅までの配達も行っています。(2021年3月末日までは実証実験のため、配達料無料中)



(9) その他、地域社会の活性化・市民サービスの向上に関すること

■ 買い物困難地域での買い物支援



(9) その他、地域社会の活性化・市民サービスの向上に関すること

■生活困窮者支援（子ども食堂中間支援組織への支援）



新型コロナで子ども食堂を開催することができず、食堂に来ていた各ご家庭に食品を無料で配布するようになりました。

配送センター（支所）で
商品を保管・仕分け作業



その他の市町村との 連携事例紹介



久留米市、大牟田市、令和2年7月豪雨支援活動

人的支援

募金活動

募金から支援活動につながりました。



うきは市、篠栗町、春日市 放課後児童クラブ等の運営受託

■ 放課後児童クラブ・児童館の運営受託

■ 保育所や放課後児童クラブへの食品・雑貨の宅配

受託実績

【うきは市】

- ・吉井学童保育所にこにこクラブ
- ・千年学童保育所ひまわりクラブ
- ・御幸学童保育所うきうきクラブ

【篠栗町】

- ・やまばと児童館・やまばと児童クラブ
- ・たけのこ児童館・たけのこ児童クラブ
- ・すぎのこ児童館・すぎのこ児童クラブ

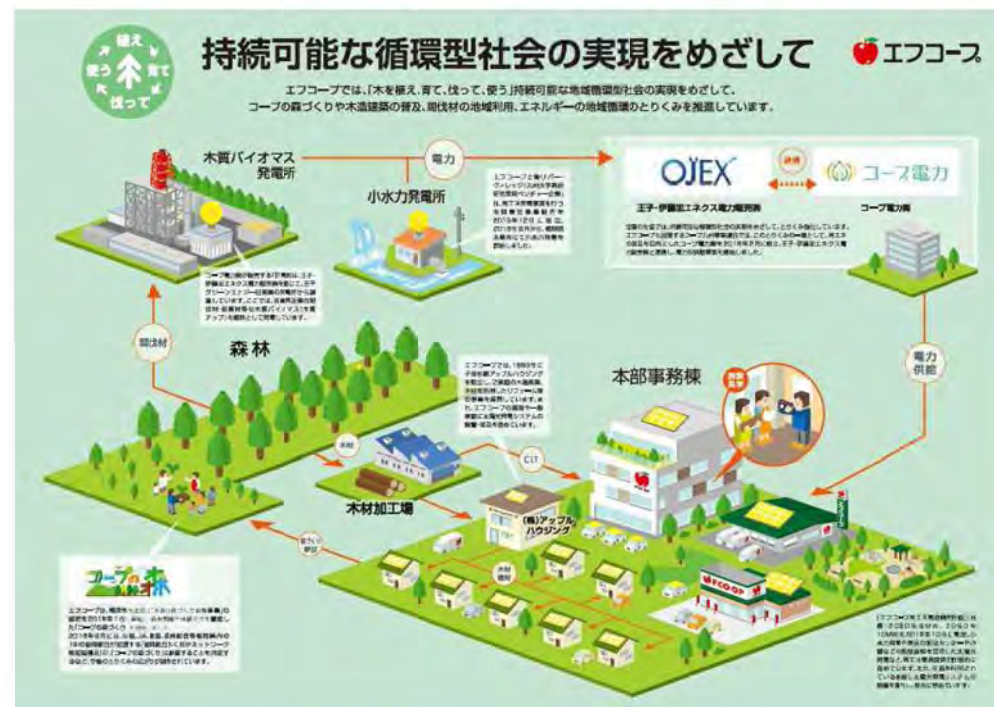
【春日市】

- ・須玖児童センター（2021年度より）



福岡市「コープの森づくり」

【コープの森 植樹イベント（啓発活動）の様子】



福岡市と「福岡市水源の森づくり共働事業に関する協定」を締結し、「コープの森づくり」として、森林の共同管理や環境保全・啓発活動に取り組んでいます。また、各地域の環境イベントへ参加や、事業として再生可能エネルギー（木質バイオマス）で発電された「コープでんき」を普及することによって低炭素社会の実現をめざしています。

糸島市「小水力発電事業」 福岡県「太陽光発電事業」

小水力発電事業（糸島市）



九州大学発のベンチャー企業（株）リバーヴィレッジと共同で、Seeds of energy有限責任事業組合を設立。
糸島市白糸地区で地域に根ざした再生可能エネルギーの活用事業を行っています。

太陽光発電事業（鞍手竜徳高校）



CO2 排出の削減をめざしてエフコープの事業所の屋根部分に太陽光パネルを設置し、自家発電に取り組んでいます。

<実施事業所>

店舗：折尾店

支所：筑豊支所、新門司支所、西港支所、宗像支所、
太宰府支所、久留米支所

※BCP対策として、避難所に指定されている施設などへの太陽光パネルの設置検討

唐突ですが・・・

社会貢献活動を進めるにあたり、行政に要望すること

- まずは生協の話を聞いていただきたい。
- コーディネーターとして、地域の課題（困りごと）の解決をするべく、地域住民、地域の諸団体などとの間を取り持っていたいただければ。



地域課題解決のパートナーとして



連携



行政・他団体
大学など

全ての人が笑顔で暮らせる地域と社会の実現をめざします。

ご清聴ありがとうございました



エフコープは、よりよいくらしと社会の実現のために、
お互いにたすけあい、声や力を寄せあう組合員による協同の組織です

